

法会の功德

新しい「令和」の時代になりましたが、突然の新型コロナウイルスの蔓延で、世界中が感染予防とその対策で大変です。皆様も注意深い生活を送らなければならず、不安の多い毎日です。



ワクチン開発など病気の克服は、医療従事者にお願いするしか有りませんが、心の不安を除き、安らぎを得るためにやはり、宗教の力も必要です。

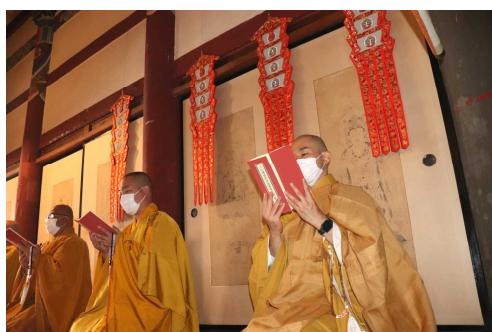


元々、天皇陛下がご即位なされた時に、國全体で行われていた一世一度の仏教行事で、國家安寧を祈念していました。今回、コロナ禍のなか、その趣旨に賛同して下さった一般檀信徒の寄進と、有縁の僧侶の方々の協力により、当院にて仁王経を読誦することが出来ました。

大変な時期が続きますぐお願いいたします。
今年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

合掌

この法会は、「仁王護國般若波羅蜜多經」(仁王経)という經典を、多くの僧侶が一斉に読むことによつて、その功德を広める法会で、護摩供養も同時に行います。



初観音法会のご案内

来る一月十七日（日曜）

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

年頭にお配りする「とし書き」に記入の上、ご参詣下さい。また、特別祈祷も申しあげますので、三日前までにご連絡下さい。

五大力明王尊像

【安住院什物 紹介】

密教で重要な明王である、五大力尊像で、室町時代初期の作です。不動明王を中心には、降三世・軍荼利・大威徳・金剛夜叉の五明王で、「仁王会」の本尊の一つでもあります。



「仁王護国般若波羅蜜多經」

この経典は、初観音で読む「大般若經」や、皆様よくご存じの「般若心經」と同じ部類で、仏様の智慧（般若）によつて、悟りを得る（波羅蜜多）ためのものです。

特に、この「仁王經」は、（七難即滅・七福即生）を説く大事な經典で、中国でも日本でも古くから国王が国を治める為に、多くの僧侶が読誦し法会を修したものです。

今回の法会で、全巻読誦には、慣れた僧侶でも約二時間

（長男は三歳になり、弟を大事に守ってくれる頼もしいお兄ちゃんになりました。）



必要でした。

弘法大師空海和尚も、時の天皇に、この經典は重要なもので、「國を護り、家を護り、皆を安らかにできる」功徳があるのに、修法すべきと仰せられ、ご自身も何度も、この仁王經の法会を修したとされています。

お経は、その文字 자체が仏様の言葉であり、大切なものですから、写經したり読經したりすることで、その功德が増すとされます。その読誦の声を聞く、或いはその場に居合わせるだけでも息災になります。

お盆・送り火法会

昨年八月お盆の棚經を終えて、十五日に、当院本堂前の境内において、「送り火法会」の行事で、皆様のご先祖様の精霊送り供養を行いました。毎年恒例の、岡山市内西川での「灯籠流し」が中止にな

て、天皇に、この經典は重要なもので、「國を護り、家を護り、



当日、午後五時頃より、皆様のご先祖の精霊を書いた卒塔婆を、住職・副住職が供養廻向してから、お炊き上げを行いました。

ご先祖様の菩提を弔い、平穏な日々が送れるよう、お盆の行事として続けていきますので、宜しくお願ひ致します。

